

2015年5月
No.15-079a(山)※1

「RAS遺伝子変異解析」 項目コード変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先般Information No.15-067a(山)※1にて新規受託をご案内しました「RAS遺伝子変異解析」につきまして、項目コードを変更させていただきますので取り急ぎご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

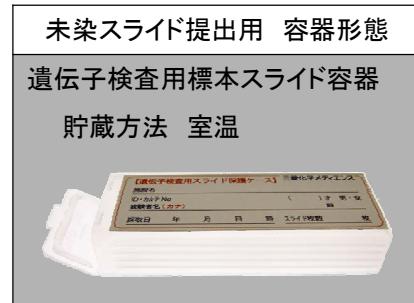
項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
8167	RAS 遺伝子変異解析	項目コード	8386	8167

※変更は項目コードのみです。検査要領は裏面をご参照下さい。

■変更期日

直ちに変更

以上



■検査要領

項目コード	8386
検査項目名	RAS遺伝子変異解析* ^{1,2}
検体量/保存方法	パラフィン切片 5枚(5~10 μm厚)* ^{3,4,5} /常温 [容器形態:Y9] または 未染スライド 5枚(5~10 μm厚)* ^{3,4,5} /常温 [容器形態は上図参照]
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	設定なし
所要日数	5~8日
検査実施料	2,500点* ^{6,7} ([D004-2]悪性腫瘍組織検査「1」悪性腫瘍遺伝子検査)
判断料	34点(尿・糞便等検査判断料)
備考	<p>* 1: KRAS遺伝子とNRAS遺伝子のcodon12,13,59,61,117および146のアミノ酸置換を伴う遺伝子変異を検出し、変異の有無と変異型をご報告致します。</p> <p>* 2: ご依頼に際しては、『遺伝子検査依頼書』をご利用下さい。</p> <p>* 3: HE染色を行い腫瘍細胞が含まれていることが確認できた切片との連続切片(未染スライド)をご提出下さい。</p> <p>* 4: 腫瘍細胞の比率が少ない場合、より多い検体を選びご提出下さい。</p> <p>* 5: 長期間ホルマリン固定した組織や、ホルマリン固定前に室温放置が長い検体は、DNAが断片化しているために解析不能となる場合があります。</p> <p>* 6: 大腸癌の診断および治療法の選択を目的として患者本人に行った場合に限り、患者1人につき1回に限り算定できます。算定に当たっては、その目的、結果および選択した治療法を診療報酬明細書の摘要欄に記載する必要があります。</p> <p>* 7: 「免疫関連遺伝子再構成」と同一月に併せて行った場合は主たるもののみ算定できます。</p>
検査場所	LSIメディエンス (→1)

※下線部が変更となりました。